



10月の行事 ハロウィン

交野おりひめ大学通信



10月の果物 柿

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和7年10月号



交野おりひめ大学

- そば学科
- おさけ学科
- クラフトビール部
- 酒づくりの会
- かたのカンヴァス
- カフェ部
- KATANOホイスコーレ準備室
- 目指せ！交野でティラノサウルスレース学科

今回は、「おさけ学科」の活動報告と、昨年秋に制定された府下初の「乾杯条例」を推進する協議会発足の参加報告を通して、「お酒」がらみで地域文化と産業との関りについてお届けします。

おさけ学科活動報告

灘五郷の酒蔵見学、魚崎郷編、9月21日(日)、おさけ学科有志が「灘五郷酒蔵見学～魚崎郷編～」をテーマに、日本一の酒どころである灘五郷で酒蔵見学を実施しました。

昨年末の企画会議で、酒蔵見学への声が上がったことがきっかけとなり、酒造りの時期ではないものの、「この企画が実現しました。参加者は学生28名でした。

最初の訪問地は、浜福鶴吟醸工房へ。ここは阪神淡路大震災で酒蔵が倒壊したものの、そこから自動ワインを導入した新しい酒蔵へと変貌を遂げたという改革の歴史を持つています。

説明をしてくださったのは、杜氏の米治さんと、味のある7歳の大先輩。その楽しい説明の後に試飲させていただいたのは、米治さんの名前を冠した「純米吟醸 米治」で、非常に美味しいかったそうです(中井リーダーが、個人的にファンになつたとのことです)。

次に訪れたのは、江戸時代に創業した菊正宗の酒造記念館です。ここでは、昔からの酒造りについてしっかりと学ぶことができました。時間の測り方が「歌」を基準にしていました。菊正宗では一つの曲を8回歌うそうですが、先に訪れた浜福鶴では7回と、酒蔵によって歌が異なるという発見も！全国の酒蔵の歌を調べると面白いかもしませんね。

昼食は、櫻正宗酒造記念館内の「櫻宴」で限定ランチをいただきました。ここでは、魚崎郷を代表する剣菱、福寿、菊正宗、そして櫻正宗の4種類のお酒を飲み比べることができます。交野らしい発声が生まれると面

わしい場所でした。今回の見学会は、日本酒の歴史や文化、酒蔵との違いを感じ、深く学べる貴重な機会となりました。



杜氏の説明に熱心に聞き入る学科生たち

交野市乾杯条例推進協議会 発足！

9月25日、「地酒等による乾杯を推進する条例」の趣旨普及に向けた第1回乾杯条例推進協議会が開催され、篠崎代表理事事が出席しました。

この条例は、交野で生まれた飲物(地酒・クラフトビール・清涼飲料水など)での乾杯を「促す」とを通じて、地域の産業や文化への関心を高め、交野らしさを次世代へ手渡すことを目的としています。重要な点として、この条例は「強制や罰則はなく」、「アルコールを飲まない方にも配慮し、清涼飲料水等も対象」としていることです。